

研究課題番号	3-2102
研究課題名	新規・次期フッ素化合物 POPs の適正管理を目的とした廃棄物発生実態と処理分解挙動の解明
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	松神秀徳

1. 委員の指摘及び提言概要

新規・次期フッ素化合物 POPs の網羅的分析方法を確立し、それを適用して主な発生源となる撥水撥油剤等の実測から汚染物質および汚染源廃棄物を明確にするとともに廃棄物処理過程を通じた環境排出経路を推定するに至っており、当該分野に大きな貢献を果たすものと評価できる。分析方法から物理化学特性の測定・推算に係る基礎研究において多くの学術的成果をあげていることに加え、それに基づき RPF 製造工程からの環境排出に係る量的ポテンシャルおよび排出制御のための技術的知見を提示したことも高く評価し得る。一方、産業廃棄物原料の RPF に対し RDF 施設との比較考察がほしいこと、焼却挙動の研究手法とした机上の実験系で得られた成果をはじめ、研究で得られた技術や知見を多様な現場で検証していくことが期待される。

2. 採点結果

評価ランク：S